



母校

元小

学校だより
令和4年11月
川口市立元郷小学校
児童数：501名

ご褒美無用 ～知られざる内発的動機づけの効果～

校長 吉田 栄

立冬を目前に控えた今、今年も季節は秋から冬へと大きく、そしてダイナミックに移行していきます。朝夕の肌寒さが身に沁みる冬隣。暮秋というにふさわしいこの季節、来たる寒さ厳しき冬の息吹を感じます。11月「霜月」。学校では早くも2学期の折り返し点を迎えました。

運動会や校内音楽会、修学旅行や校外学習等、児童にとって大きな学校行事がひとつずつ終わっていきます。教室を見回れば、腰を据え、主体的に学習に臨む児童の姿に感心する毎日です。「できるようにになりたい」「もっと伸びたい」という児童の願いを感じます。

一方、自分から進んで勉強することができない…といった声を保護者の方から聞くことがあります。そのようなとき、ついつい「勉強したらお小遣いをあげる」「勉強したらゲームをやっていいよ」と言ってしまいがちですが、こうしたことで児童の主体的学習を継続するという効果は期待できるのでしょうか…。

お小遣いやゲームは、児童にとっては魅力的な「ご褒美」です。言い換えれば、「報酬」ととらえることもできます。確かに、報酬を提示することは、提示された側にとってはモチベーションが上がるという効果をもたらす場合もあります。しかし、報酬を提示されることによるマイナスの効果も懸念されるのが現状です。マイナスの効果、それは「アンダーマイニング効果」です。

アンダーマイニング効果とは、自分の内面から湧き上がってくる興味や関心、意欲に動機づけられた状態（内発的動機づけ）に基づく行為に対し、報酬を与える等の外発的動機づけを行うことによって、かえってやる気が低減する現象のことを示す言葉であり、抑制効果、過正当化効果とも言われます。この効果を提唱したアメリカの心理学者 リチャード・ドシャーム 氏の「自己原因性」という概念によると「人は自分で自分の行動を決めていると知覚しているときには内発的に動機づけられるが、他者から統制されていると知覚しているときには外発的に動機づけられる」とされています。行動に対して他者から報酬をもらうことで、行動の目的が「報酬をもらうこと」に変わってしまい、報酬なしではやる気が出なくなってしまうのです。

そもそも、児童はなぜ学習するのでしょうか。児童が自らの意志で学習に臨もうとする心の内には、新たな学習への興味や関心といった知的好奇心や問題を解いて正解を導く楽しさを感じているのかもしれませんが。あるいは自分の弱点を克服しようという向上心を原動力としているのかもしれませんが。自分の将来のためと考える児童もいることでしょう。せっかくそのような内発的動機づけが為されている状態にもかかわらず、それに基づく自分の行為に対する「ご褒美」を提示されると、まるでご褒美のために学習しているような気がして、モチベーションが下がってしまう…。こうしたことが繰り返されると、ご褒美がなければ学習しない…、さらにはご褒美そのものに魅力を感じなくなってしまったらもう学習しない…という状態にまでなってしまうかもしれません。児童の継続した学習のために重要なことは、ご褒美のような外発的動機づけという「見せかけの近道」ではなく、一見遠回りに見えたとしても、いかに児童の内発的動機づけを確固たるものにできるかということなのです。

愛知県出身の元プロ野球選手であり元メジャーリーガーのイチロー こと 鈴木一郎氏は、「やらされる練習じゃなければ、いろんなことが、うまくまわってきます」と言っています。さらには「決して、人が求める理想を求めません。人が笑ってほしいときに笑いません。自分が笑いたいから笑います」とも言っています。これだけの内発的動機づけのある人です。野球に対する並々ならぬ情熱、プロとしての熱き鼓動を感じます。球界での数多くの輝かしい記録にも大いに納得です。

児童とともに歩む限りあるたいへん貴重な時間の中、児童の「自分が学びたいと思うから学ぶ」という内発的動機づけをより一層重視するとともに、「できるようにになりたい」「もっと伸びたい」と元郷小の全員の児童が思えるよう、力を尽くしてまいります。

日	曜日	内容
		生活目標 話をしっかり聞き、進んで発表しよう。 保健目標 衣服の調節をしよう
1	火	彩の国ふるさと学校給食月間～11/30 (135)キラキラタイム
2	水	講話朝会/就学時健康診断/5年生以外 11:50完全下校
3	木	文化の日/PTAソフトボール大会
4	金	通学班班長会議/(2)キレいのタネまき教室 (6)アルバム写真撮影
5	土	
6	日	
7	月	B日課/(3)消防署見学
8	火	集金日/キラキラタイム(135)/(4)ふれあいなわとび大会計測
9	水	心の集会/なかよし遊び25休/(5)オンライン自動車工場見学
10	木	(12)読み聞かせ/キラキラタイム(246)/(3)ふれあいなわとび大会計測/(56)委員会
11	金	(6)アルバム写真撮影
12	土	
13	日	
14	月	県民の日
15	火	B日課5時間授業/研究本発表(14:15下校)
16	水	児童集会/代表委員会/(2)ふれあいなわとび大会計測
17	木	(全)読み聞かせ/キラキラタイム(246)/クラブ
18	金	コンソーシアム/(56)ふれあいなわとび大会計測 (日時が変更となりました)
19	土	
20	日	
21	月	B日課/自主学習強化週間(28日まで)/センター栄養士巡回指導
22	火	音楽朝会/キラキラタイム(135)
23	水	勤労感謝の日
24	木	(123)読み聞かせ/キラキラタイム(246)/ロングなかよし遊び/クラブ
25	金	不審者対応避難訓練
26	土	
27	日	
28	月	B日課
29	火	持久走大会
30	水	持久走大会予備日/スクールカウンセラー来校

いじめ相談件数

10月のいじめに関する相談件数は、5件でした。

Teacher's column

「情報機器を安全に楽しく使う」

情報教育主任 松浦 楓生

GIGAスクール構想に伴い、児童一人一人にタブレットが貸し出されるようになりました。タブレットに触れることが当たり前となり、私の学生時代とは大きく異なる学習環境であると感じています。私は大学に進学するまでタイピングの経験がほとんどなかったため、今の6年生よりタイピングが遅かったです。ですが、4年間である程度早くタイピングができるようになりました。今の小中学生が大人になったとき、どのくらいタブレットを活用できるようになっているのかと想像すると、将来がとても楽しみです。

元郷小学校でも、高学年ではタイピングの記録で競っていたり、PowerPointに自分の好きなこと・将来のことをまとめていたりする児童の姿が見られ、タブレットを楽しく活用していることがわかります。授業では、「ミライシード」を活用してみんなの意見を一か所に集めて共有するなど、より多くの友達の考えを知ることができています。

WordやExcelは私たちの生活になくてはならない存在となっています。子供のときから使い慣れることで、大人になったときに、「こういう風に使えるのではないか」、「こう使ってみたらよいのではないか」といった思考につながると思います。

ICTの活用能力の向上に伴い、大きな課題の1つが視力低下です。タブレットを使用する際は、画面からなるべく離れて使用するようお声がけをよろしくお願いします。また、暗い部屋での使用、就寝前の使用も視力低下につながるため、使用しないよう見取りをお願いします。

2つ目は、タブレットの破損についてです。とある市町村ではタブレットの修理費用が数百万円になったというニュースを見かけました。学校でもタブレットの取り扱いについては引き続き指導してまいりますので、ご家庭でも安全に大切に使用していただけるよう、見取りをお願いします。

使い方によってはSNS等がいじめにつながる、悪徳サイトに巻き込まれるといったトラブルに巻き込まれることも考えられます。そのようなことがないよう児童と情報機器の使い方やルールをご家庭で話し合っていたいただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



下校時刻変更のお知らせ

○11月2日(水)は就学時健康診断のため下校時刻が変わります。

5年生 15:00頃

5年生以外 11:50(給食なし)

○11月15日(火)は、研究本発表が行われるため下校時刻が変わります。

全学年 14:15

帰宅時刻に注意しましょう

11月～2月までは、午後の4時30分までに家に帰るのが、元郷小のきまりです。

学校の校庭で遊べるのは、4時25分までです。暗くなるのが早くなりました。交通事故や不審者などに気をつけて、放課後も安全に過ごせるように、よろしく願いいたします。